

Step1

Why なぜリスクリングするのか目的を決める

4つの環境変化に着目

デジタル環境

デジタル化の進展により
業務プロセスが変わり対応が必要

バーチャル環境

リモート環境での
ワークスタイルの適応

ダイバシティ環境

さらなる多様性の中で、リーダーシップ
やコミュニケーションを適応させる

VUCAの時代環境

VUCAの時代になり
ビジネスモデルが激変する可能性

様々なリスキリングの目的

- ✓ DX戦略を推進させる
- ✓ イノベーションを促進させる
- ✓ 新たなビジネスモデルに対応する
- ✓ 高齢化に伴うスキル不足を補う
- ✓ 未来に向けたサクセッションプラン
- ✓ 競争に差別化されない
- ✓ 離職の防止

e.t.c.



Step 2

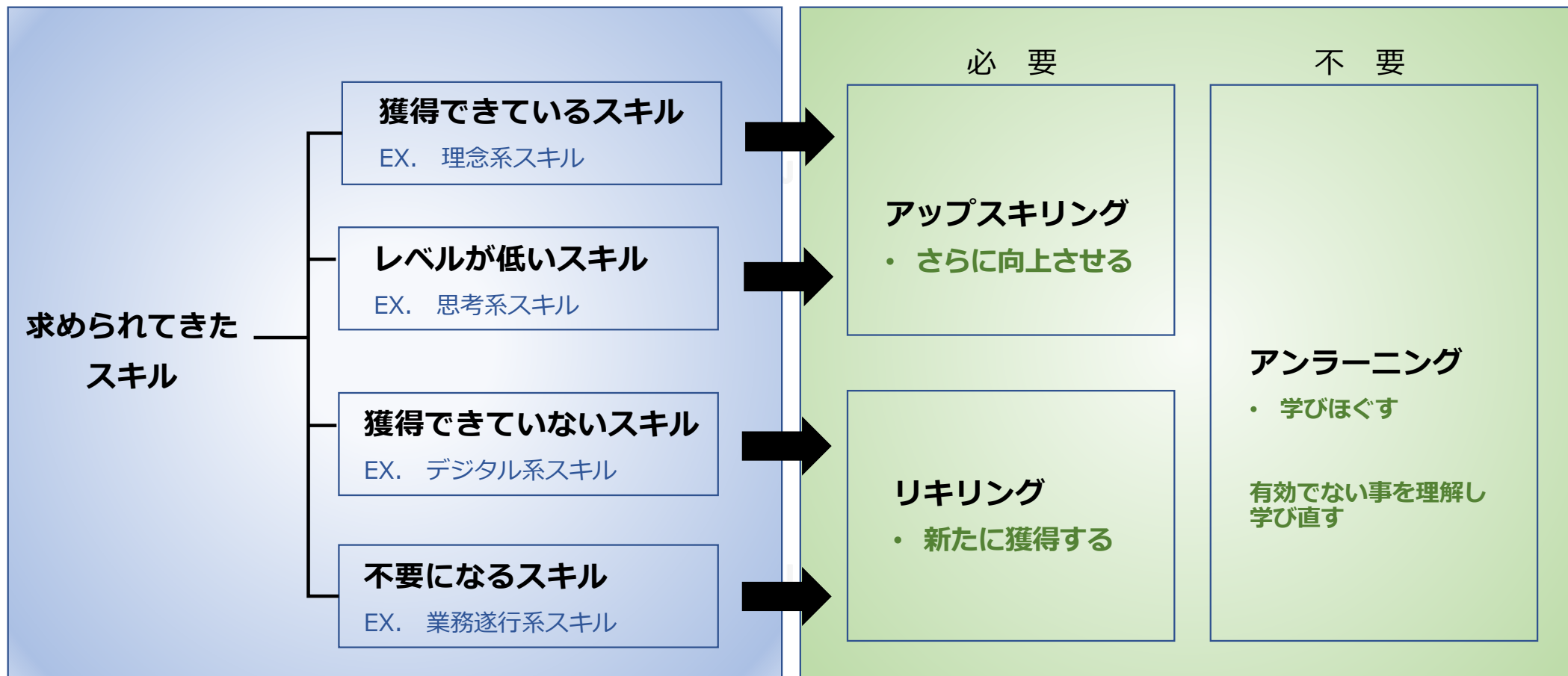
Analysis 現在のスキルを把握する

スキルインベントリー

JINZAILAB 今のビジネスモデル

JINZAILAB

将来のビジネスモデル



Step 3

What 何をリスクリングするのかを決める

リスクリング項目を4つの枠組みから選択する

修正

アップデート

今までスキルを修正、バージョンアップする

交換

アンラーニング

今までスキルを捨てて新たなスキルを獲得

追加

アドオン

今までスキルに加えて新たなスキルを獲得

強化

アップスキル

今のスキルをさらに磨いて断トツにする

注目される背景

意識・行動面を含めた仕事に必要な能力の移り変わり

56の能力等に対する需要

2015年	
注意深さ・ミスがないこと	1.14
責任感・まじめさ	1.13
信頼感・誠実さ	1.12
基本機能（読み、書き、計算、等）	1.11
スピード	1.10
柔軟性	1.10
社会常識・マナー	1.10
粘り強さ	1.09
基盤スキル [※]	1.09
意欲積極性	1.09
⋮	⋮

※基盤スキル：広く様々なことを、正確に、早くできるスキル



2050年	
問題発見力	1.52
的確な予測	1.25
革新性 [※]	1.19
的確な決定	1.12
情報収集	1.11
客観視	1.11
コンピュータスキル	1.09
言語スキル：口頭	1.08
科学・技術	1.07
柔軟性	1.07
⋮	⋮

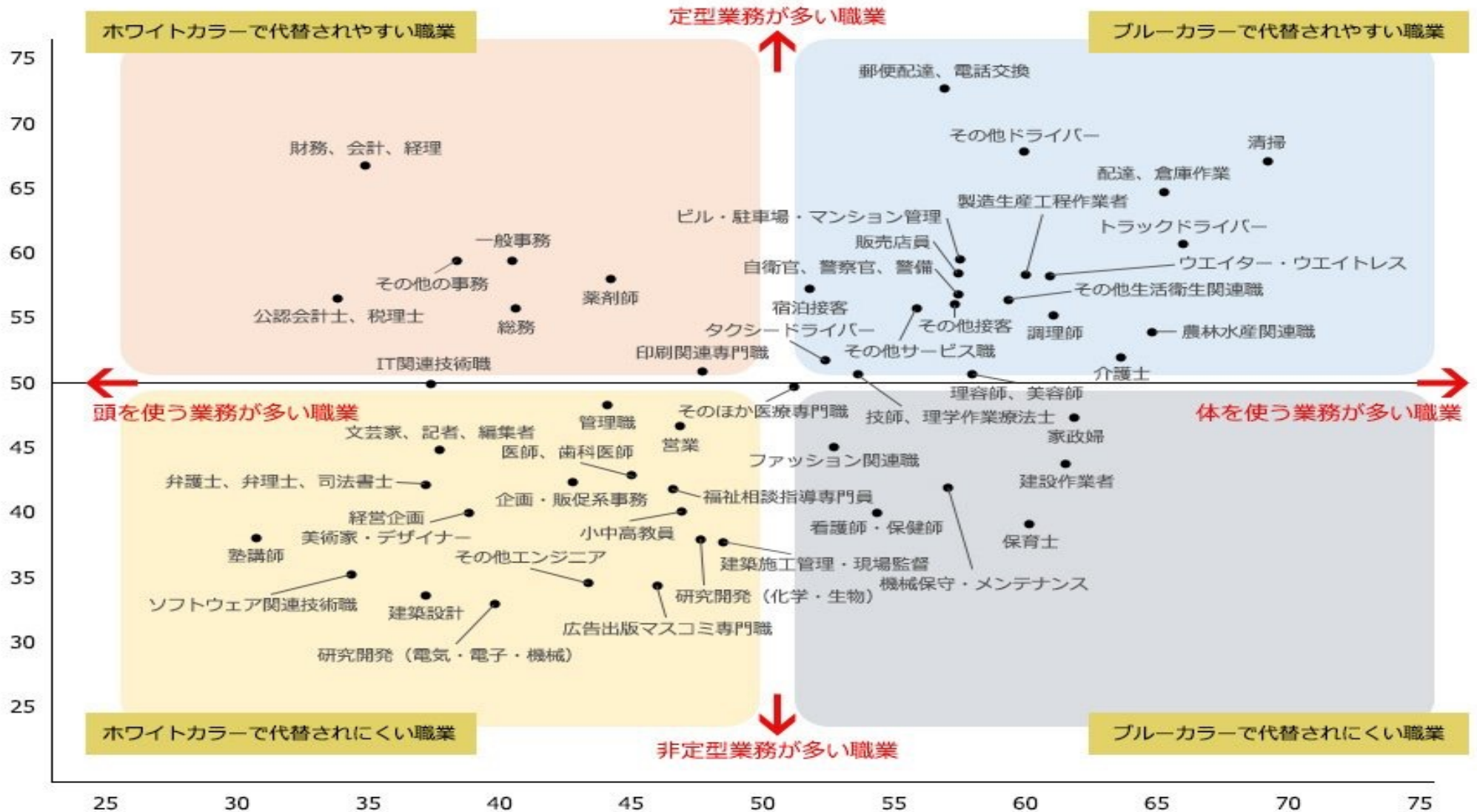
※革新性：新たなモノ、サービス、方法等を作り出す能力

Step 4

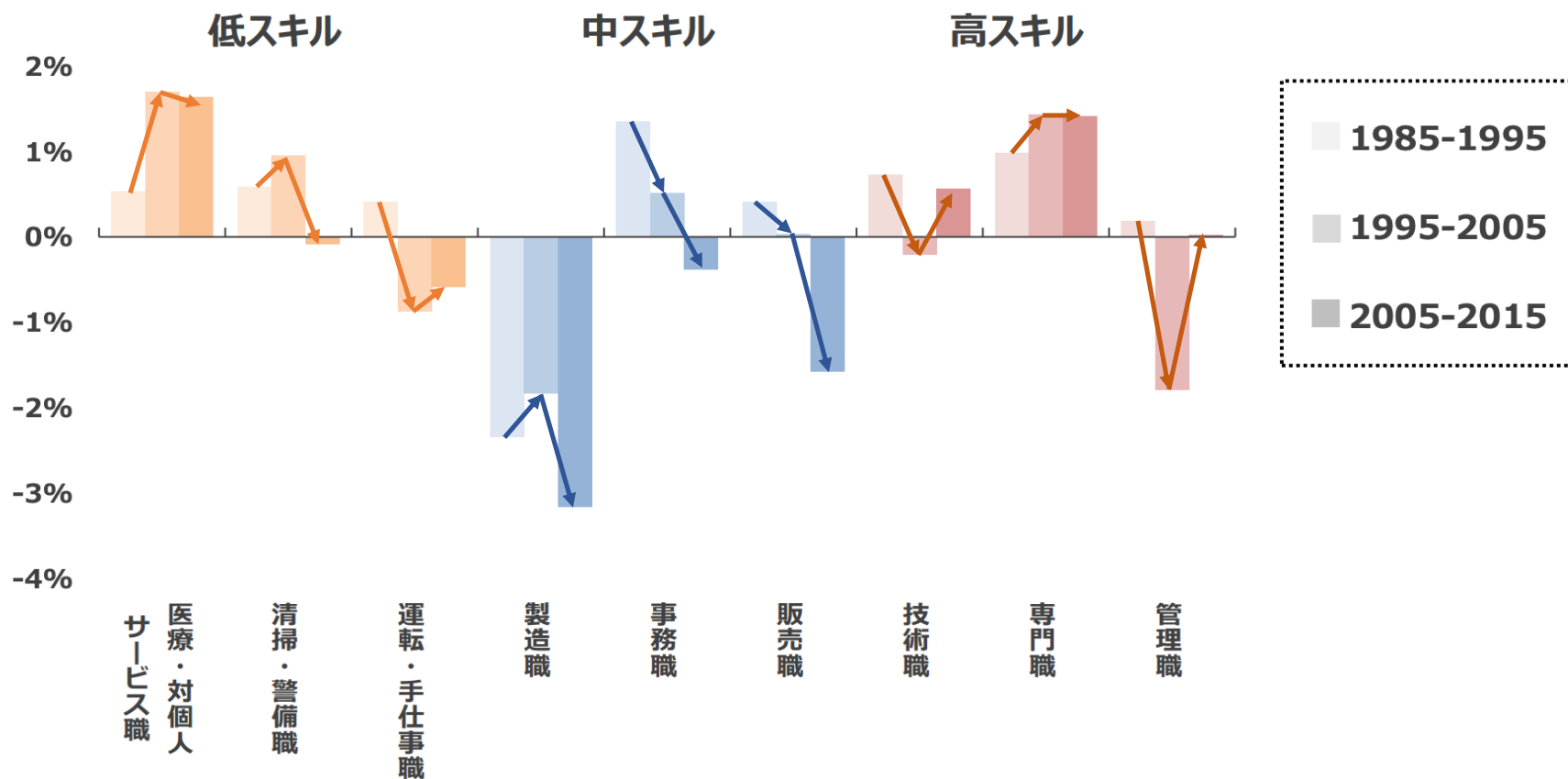
Who 誰のためのリスクリングなのかを定める

A I に代替されやすい職業、されにくい職業


引用：DAIMOND Online <https://diamond.jp/articles/-/254815>



日本における職業別就業者シェアの変化



労働需要推計：経済産業省「未来人材ビジョン」令和4年5月



目指すべき高成長シナリオでは、2050年において、
特徴のはっきりした労働需要の変化が確認された。

「職種」・・・ 事務従事者 42% **減少**

販売従事者 26% **減少**

情報処理・通信技術者 20% **増加**

開発・製造技術者 11% **増加**

「産業」・・・ 卸売・小売業 27% **減少**

製造業 1% **減少**

Step 5

How どうやってリスキリングするのか

How どうやって

- 新たな研修やセミナーに参加させる
- OJTで体験させる
- 外部セミナーに参加させる

-
- 個別学習の機会
 - マイクロラーニング短時間で少しずつ
 - オンラインラーニングで幅広い対象者へ



ラーニングテクノロジー
の得意分野